

# 週報



<テーマ> 違いの中にキリストを告白する群れ  
～ 響き合う礼拝とひろば ～

<年間テーマ> 希望の主と共に歩む

<聖句>ローマの信徒への手紙15章13節

希望の源である神が、信仰によって得られるあらゆる  
喜びと平和とであなたがたを満たし、聖霊の力によって  
希望に満ちあふれさせてくださるよう。

◀神戸教会は2020年に宣教開始70周年を迎えました。▶

## 「われらの国籍は天に在り」

本日は約二年ぶりとなる永眠者記念礼拝です。例年4月第四週に行っていた「永眠者記念礼拝」と、舞子墓園において守られていた「4教会合同永眠者記念礼拝」はコロナの感染拡大によって中止せざるを得ませんでした。しかし今回、落ち着いた時期を見計らい、当教会の関係者のみですが、永眠者の記念の時を守ることができることを嬉しく思います。墓園に行くこともできず寂しい思いをされていた方々もおられるでしょう。また今回、礼拝に出席がかなわない方々もおられます。でも私たちはその方々を覚えつつも、教会で共に永眠された方々の名前を朗読し、祈りを合わせたいと思います。

永眠者を覚えることは私たちにとって大切なことです。それは、故人を偲ぶということではありません。それは永眠者が神の御国において今生きていることに希望を頂くからです。イエスさまは「復活についての問答」(マルコ12章)の中で神が「わたしはアブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神である。」と言ったことについて、「神は死んだ者の神ではなく、生きている者の神なのだ。」と言います。つまり、主なる神は死んだ方を呼び起こされ、既に新しいのちに導かれているということなのです。だから私たちは永眠者を記念することを通して、新しいのちを確信し、神を感謝するのです。「われらの国籍は天に在り」(ピリピ3:20 口語訳)は、当教会二代目牧師郡博之先生によって墓石に記されました。生も死も主のみ手に在ります。イエスさまの伴いの中、歩いて参りましょう。【西脇慎一】

日本バプテスト連盟 神戸バプテスト教会 牧師 西脇慎一

〒650-0003 神戸市中央区山本通1-7-27 TEL078-231-7187 FAX078-221-5252

ホームページ: [kobe-church.com](http://kobe-church.com) 事務局Eメール: [jimukyoku@kobe-church.com](mailto:jimukyoku@kobe-church.com)

主日礼拝	毎日曜日	午前10:30~11:45
共育のひろば	毎日曜日(第3週除く)	午前11:45~12:40(当面お休みです)
	(幼児クラス・小学生クラス・中高生クラス・成人クラスA・B・C)	
幼稚園C・S	毎日曜日	午前9:00~10:20(当面お休みです)
ひまわりひろば	毎日曜日	午前9:00~10:20(当面お休みです)
月曜ひろば	第1・3月曜	午前9時半~11時(当面お休みです)
祈祷会	毎水曜日	午後7:00~8:15
	第2・4水曜	午前10:30~12:00(当面お休みです)

教会についてのお問い合わせ、バプテスマの希望や他教会からの転入など、  
ご相談のある方は牧師、又は教会事務局までご連絡ください。

# 《 永眠者記念礼拝式次第 》

さん び か  
讚 美 歌  
いの  
祈

しんせい よ ちから かこ  
新生73「善き力にわれ囲まれ」

いち どう  
一 同

こ  
子どもメッセージ

しとげんこうろく しょう せつ  
使徒言行録15章8～11節

は や か わ ま も る  
早 川 守

えいみんしゃ おぼ  
永眠者を覚えて

にしわきしん いち ぼくし  
西脇慎一牧師

さん び か  
讚 美 歌  
せい しょ  
聖 書

きょう だん あお み  
教団488「はるかに仰ぎ見る ①③」  
きょう だん ふくいんしょ しょう せつ  
ヨハネによる福音書 14章1～3節

いち どう  
一 同

しんやく  
(新約 新共同訳P,196 口語訳P,164)

せん きょう  
宣 教

こくせき てん あ  
「われらの国籍は天に在り」

にしわきしん いち ぼくし  
西脇慎一牧師

おう とう いの  
応 答 の 祈 り

きょう だん ゆ みち  
教団494「わが行く道いつかに」

いち どう  
一 同

おう とう さん び か  
応 答 の 讚 美 歌

きょう だん ゆ みち

いち どう  
一 同

ささ げ も の  
献 げ も の

しんせいさんび か ひら さんしょう  
(新生讚美歌開き参照)

いち どう  
一 同

しゅ の いの  
主 の 祈 り

せい めんさんしょう  
「聖なるかな」(4面参照)

いち どう  
一 同

しょう えい  
頌 栄

せい めんさんしょう  
「聖なるかな」(4面参照)

いち どう  
一 同

しゅく とう  
祝 禱

せい めんさんしょう  
「聖なるかな」(4面参照)

にしわきしん いち ぼくし  
西脇慎一牧師

ア ー メ ン

682-Ⅲ「アーメン」

いち どう  
一 同

〇〇 〇〇

## 「聖なるかな」

聖なるかな 聖なるかな  
聖なるかな 主なる神  
おかし いまし  
いま いまし  
とわ(永遠)にいます  
主をたたえん

◆本日は永眠者記念礼拝です。永眠者のお写真をお持ちの方は前の机にお並べ下さい。共に覚えてお祈りしましょう。

◆礼拝後、女性会があります。また13時から永眠者記念堂(舞子墓園)で記念のお祈りの時を持ちます。参加希望の方はどうぞ事務局までお知らせください。

◆会堂での礼拝は、下記のことにお気をつけ下さい。

○礼拝前後の距離の近い交わりや大きな声でのお話は、お控えください。

○賛美歌を歌う際は、マスク着用の上、着席のまま、主を賛美しましょう。

○座席の間隔をあけてお座りください。西・東サイドルームにも座席を用意しています。

○オンライン礼拝のために、礼拝開始5分前からビデオ撮影を開始します。

○現在「託児」は休止中です。礼拝堂2階や和室でお子さまと一緒に礼拝をお守りいただけます。

◆23日(土)女性連合信徒大会がオンラインで開催されます。参加希望の方は、女性会役員か事務局までお知らせください。19日(火)締切。

◆31日(日)は、奥田知志先生(東八幡キリスト教会牧師)を招いて特別伝道礼拝を守り、礼拝後は合同のひろばを行います。チラシ配布は行いませんが、関心のある身近な方にお知らせください。

◆今後の共有のひろば予定は、次週 24日(ZOOM)、31日(合同のひろば:対面とZOOM)、11月7日(対面)、12月5日(ZOOM)、12月14日(対面)です。どうぞご出席ください。

◆朝 10 時と夜 8 時に共にお祈りの時を持ちましょう。

- 1、新型コロナウイルス感染症が一刻も早く収束に向かいますように。
- 2、感染した方々の癒しとご家族の守りと、緊張とストレスの中、診療に当たられている医療従事者を始め、福祉職の方々、人々の日常生活を支えている多くの方々の守りのために。
- 3、コロナ禍で経済的な困難の中にいる個人事業主、非正規雇用の方々の守りのために。
- 4、子どもたちの心の守りと成長の祝福。そしてご家庭の守りのために。
- 5、光の丘幼稚園の園児・保護者・教職員の守りのために。主の守りと導きをお祈りください。
- 6、困難の中にいる方々と共に生きるすべてのキリスト教会と信徒の信仰生活の守りのために。
- 7、ミャンマーで起きている市民への弾圧からの守りのために。自由と平和が実現しますように。
- 8、イスラエルとパレスチナ、アフガニスタンに住む人々のいのちの守り、平和と和解のために。
- 9、自然災害が増えています。猛暑や台風や局所的な豪雨の被害に遭われた方々の為に。
- 10、全国的に緊急事態宣言は解除されましたが、まだまだ不安の中におられる方々がおられます。それぞれの場所で献げられる礼拝のために、信仰生活、心と体のご健康の守りのために。

### 【連盟・連合・他教会の祈り】

◆日本バプテスト連盟の全国 317 の教会・伝道所のために。また関西地方教会連合の36教会のために。特に無牧師の神戸新生。休会中の神戸国際、大阪旭のためにお祈りください。

◆9/23 日に行われた関西地方連合信徒大会の開会礼拝とパネルディスカッションが YouTube で限定公開されます。どうぞご覧いただき、今後の連合のためにお祈りください。

開会礼拝 <https://youtu.be/U4IX7RkTfMA> パネル <https://youtu.be/hLJDGqZ2dEk>

### 交読 「新生・バプテストマ（ローマ6・IIコリント5・ガラテヤ3）」

恵みが増すようにと、罪の中にとどまるべきだろうか。決してそうではない。

罪に対して死んだわたしたちが、どうして、なおも

罪の中に生きることができよう

それともあなたがたは知らないのですか。キリスト・イエスに結ばれるためにバプテストマを受けたわたしたちが皆、

またその死にあずかるためにバプテストマを受けたことを。

わたしたちはバプテストマによってキリストと共に葬られ、

その死にあずかるものとなりました。

それは、キリストが御父の栄光によって死者の中から復活させられたように、

わたしたちも新しい命に生きるためなのです。

もし、わたしたちがキリストと一体になってその死の姿にあやかるならば、

その復活の姿にもあやかれるでしょう。

わたしたちの古い自分がキリストと共に十字架につけられたのは、

罪に支配された体が滅ぼされ、

もはや罪の奴隷にならないためであると知っています。

だから、キリストと結ばれる人はだれでも、新しく創造された者なのです。

古いものは過ぎ去り、新しいものが生じた。

バプテストマを受けてキリストに結ばれたあなたがたは皆、

キリストを着ているからです。

そこではもはや、ユダヤ人もギリシア人もなく、奴隷も自由な身分の者もなく、

男も女もありません。

あなたがたは皆、キリスト・イエスにおいて一つだからです。